

## 岡山県食育推進計画施策一覧表

## 食育推進施策の方向 1 家庭での食事の大切さを実感し、正しい食習慣を身に付ける

No.	施策名	部局	取組内容	取組指標	実施状況(実績)・予定	目標
1	朝食毎日食べよう大作戦	保 福 (健推)	朝食欠食率の高い若い世代に対して、朝食の大切さの普及啓発を実施し、「健康おかやま21」の目標である学童期の朝食摂取100%の達成に向けて、おにぎりづくりを中心とした普及啓発イベントを行う。		栄養改善協議会の自主的な事業「岡山“びいき”を育てます。大切にしたい、岡山の味を育てる会」として実施した。 日時:平成21年8月3日(月) 場所:岡山県南部健康づくりセンター	
					平成22年度朝食毎日食べよう大作戦 日時:平成22年8月11日(水) 場所:岡山県南部健康づくりセンター 対象:小学生親子	
2	学校栄養士等が紹介する朝食レシピ集	教 育 (保体)	栄養教諭や学校栄養職員等が、地場産物を活用して簡単に作れる栄養バランスもとれた朝食のレシピをリーフレットにまとめ、保護者に配布して、朝食摂取率の向上に努める。		岡山県内の全小中学生の保護者へ例年の朝食摂取率調査(11月実施)に合わせて、事前の啓発のための指導の資料とした。 10月175,000部配布。	
					終了	

## 食育推進施策の方向 2 食を楽しみ、選択する力を付ける

No.	施策名	部局	取組内容	取組指標	実施状況(実績)・予定	目標
3	栄養食品普及指導事業	保 福 (健推)	各保健所で講習会を開催し、加工食品・外食の栄養成分表示や保健機能食品制度に関する知識の普及を図る。		「栄養表示基準制度講習会」10回488人	実施回数 各保健所1回以上
					栄養表示基準制度講習会を各保健所1回以上実施する。	実施回数 各保健所1回以上
4	食環境整備事業 「栄養成分表示の店」登録事業	保 福 (健推)	飲食店で提供しているメニュー(献立)のうち、提供頻度の高い献立5つ程度について、エネルギー、たんぱく質、脂質、炭水化物、塩分量を表示する店舗の登録を行い、食を通じた健康づくりを推進する。併せて、おいしーヘルシー提供店の健康的なメニュー開発を支援する。	栄養成分表示に協力する施設の数	栄養成分表示の店登録数 970施設(H22.3末現在)	平成21年度目標 940施設
					引き続き実施する。	平成24年度目標 940施設
5	給食施設管理者・従事者研修会の開催	保 福 (健推)	給食施設の管理者・従事者に対して、栄養管理・衛生管理等についての研修を行い、利用者の健康保持、増進を図る。		「給食施設管理者等教育研修会」8回335人 「給食施設 従事者等研修会」20回1,127人	開催数 ①管理者 各保健所1回 ②従事者 各保健所2回
					県内5保健所・4支所で「給食施設管理者教育研修会」「給食施設従事者研修会」を実施する。関係団体(岡山県給食協議会、岡山県栄養士会)に研修の企画及び実施を委託し、効率的かつ効果的に実施する。	開催数 ①管理者 各保健所・支所1回 ②従事者 各保健所・支所2回以上
6	健康づくり普及事業	保 福 (健推)	「健康づくりのための食生活指針」の基本を踏まえて、住民の健康づくりに対する意識を高め、望ましい食習慣の定着を促進するため、地域の特性に応じた事業を実施する。		栄養委員研修会 434回10,198人 食生活講座 2,717回 72,238人	
					引き続き実施する。	

上段:平成21年度の実施結果

下段:平成22年6月末までの実施結果及び平成22年度実施予定

★:新規施策 ☆:変更事項

### 食育推進施策の方向 3 体験を通じた食育の推進

No.	施策名	部局	取組内容	取組指標	実施状況(実績)・予定	目標
7	ふるさと農林漁業少年団	農水(農産)	小中学生を対象として、市町村の地域・集落で農林漁業に関する少年団を組織し、農林漁業の体験学習、集落・地域子供農園の設置等を実施(岡山県農林漁業担い手育成財団)		少年団数:2少年団	
					平成21年度に引き続き実施する。	
8	農林業実践学習の里体験学習農園	農水(農産)	農作業や農村生活等の体験を通じて、農業に対する理解を深めるとともに、将来のたくましい担い手の育成を図るため、小・中学生等を対象に農作業の体験学習を実施(岡山県農林漁業担い手育成財団)		利用者数:713人	
					平成21年度に引き続き実施する。	
9	学校給食用牛乳供給事業	農水(畜産)	(学校給食用牛乳の供給) 安全で質の高い県産牛乳を学校給食に継続して安定供給し児童生徒の体位体力の向上と牛乳の消費拡大に役立てる。 (牧場、乳業ふれあい支援事業) 児童もしくは生徒又はその保護者を対象として、牛乳及び酪農への理解を深めるため、実習や見学を実施。		(学校給食用牛乳の供給) 24,257,957本(200cc瓶換算)を供給  (牧場、乳業ふれあい支援事業) 19校、延べ1,035名が牧場体験	(学校給食用牛乳の供給) 610校、 185,975名へ、 34,920,741本供給 (ふれあい支援) 18校、1008人が 牧場体験
					(学校給食用牛乳の供給) 611校、184,660名へ34,566,296本(200cc瓶換算)を供給予定	611校、184,660名へ34,566,296本を供給
10	市民農園や空き農地等を活用した体験の推進	農水(農振)	市民農園や空き農地等を利用して、消費者自らが農産物を生産することにより、安心・安全な食材の供給、地産地消の推進を図る。		市民農園設置数 0カ所	設置数 2カ所
					市民農園設置目標 2カ所	設置数 2カ所

### 食育推進施策の方向 4 食育を進める人材の育成、活用

No.	施策名	部局	取組内容	取組指標	実施状況(実績)・予定	目標
11	農業体験教育推進事業	農水(農産)	学校教育や地域教育の各段階で実施される農業体験学習の受け皿として農業体験学習の指導等を行うインストラクターを置くとともに、研修ほ場の管理や、研修メニューの作成により受入体制を整備する。		・農業体験学習のインストラクター1人を担い手育成財団に設置	
					平成21年度に引き続き実施する。	
12	学校給食担当者等講習会	教育(保体)	学校給食と食育(食に関する指導)の意義と役割について認識を深め、安全で魅力ある学校給食及び学校給食指導の充実を目的に実施する。		管理者等講習会と隔年で実施していたが、担当者等講習会のみを隔年実施とする。その初年度、実施年で平成21年11月4日(水)開催。(出席者241名)	隔年1回開催
					次回開催は、平成23年度予定のため22年度の実施はない。	隔年1回開催
13	岡山県学校給食研究協議大会	教育(保体)	学校給食の意義と役割について認識を深め、その指導と管理運営の改善充実を図るため、当面する諸問題(衛生管理、栄養管理、健康問題等)について研究協議を行い、学校給食の充実発展と、職員の資質向上を図る。		学校給食関係者対象に平成21年8月21日コンベックス岡山にて開催。夏休み中に開催をすることで、調理従事者に対する衛生に関する知識向上に努める。(財)岡山県学校給食会に主催を変更、教育委員会は、共催者として運営。 (出席者613名)	年1回開催
					主催:(財)岡山県学校給食会 共催:岡山県教育委員会 学校給食関係者対象に平成22年7月30日コンベックス岡山にて開催予定。	年1回開催
14	栄養教諭を中核とした食育推進事業	教育(保体)	栄養教諭が中核となって、家庭や地域の団体等と連携・協力した食育の取組を行うとともに、家庭に対する効果的な働きかけの方策等について調査研究を行う。		「栄養教諭を中核とした食育推進事業」(備前市・奈義町)を実施し、報告書にまとめ関係機関へ配布。	
					「栄養教諭を中核とした食育推進事業」2地域程度(地域は未定)を予定。	

## 食育推進施策の方向 5 地域特性を生かした取り組み

No.	施策名	部局	取組内容	取組指標	実施状況(実績)・予定	目標
15	地域食育推進活動	保 福 (健推)	食育を総合的に推進するため、県内各地域で関係者の連携を深め、各地域の特性を生かした取組を進めるため、地域食育推進協議会を開催する。		・各保健所・支所管内で地域食育推進協議会 5保健所4支所 計16回開催	
					・引き続き各保健所・支所管内で地域食育推進協議会を開催する。	
16	食料自給率向上県民運動の推進	農水 (農企)	食料自給率向上に向け、水田を有効に活用した米粉用米・飼料用米の生産振興や米や米粉製品の消費拡大など、生産・消費両面にわたる取組を進める。		・岡山県食料自給率向上対策会議を設立(7/27) ・10月を食料自給率向上月間として制定し、食料自給率向上シンポジウムを開催(10/14) ・おかやまエコ&フードフェア2009を開催(11/1)	
					平成21年度に引き続き実施する。	
17	地産地消県民運動の推進	農水 (農企)	「自分たちの住む地域で作られたものを、その地域で消費しよう」をキーワードに、生産者と消費者の相互理解を深め、安全で安心な県産農林水産物の安定供給と消費拡大を目指す。		・地産地消弁当コンクールの開催 ・「我が家の食料自給率・地産地消率診断シート」の作成と普及啓発 ・地場産食材取扱店(おかやま地産地消協力店)登録制度の制定	
					平成21年度に引き続き実施する。	
18	米の消費拡大	農水 (生流)	米を中心とした栄養バランスに優れた「日本型食生活」を定着させるため、今後の食生活の動向に大きな影響を及ぼす若い世代に重点を置き、米の重要性の啓発とごはん食の普及を進める。		1 ごはん食出前講座 ・対象：栄養教諭、学校栄養職員等 ・1カ所(10月) 2 親子でごはんモリモリ講座 ・対象：小学生と保護者 ・3カ所(8,9,11月)	
					平成21年度に引き続き実施する。	
19	グリーンツーリズムの推進	県生 (地振)	グリーン・ツーリズムを推進するための実践者ネットワークと、都市住民を中心としたファンクラブ制度を立ち上げ、モニターツアー等を実施して農山漁村の持続可能な地域づくりを目指す。		(1)GT実践者会員の情報提供 (2)GTインストラクターの育成・資質向上及びGTN会員同士の交流・情報交換を目的とするバス見学会を開催 (平成22年2月16日開催 36名参加) (3)モニターツアーの開催 (平成21年11月22日開催 23名参加)	・HP等による情報発信 ・バス見学会 1回 ・モニターツアー1回
					・GT実践者等の情報提供支援	・HP等による情報発信

## 食育推進施策の方向 6 積極的な情報提供、意見交換

No.	施策名	部局	取組内容	取組指標	実施状況(実績)・予定	目標
20	ホームページ「健康おかやま21」の充実	保 福 (健推)	21世紀の県民健康づくり指針「健康おかやま21(食育含む)」を広く県民に普及するために開設したホームページの充実を図る。		適宜更新を行う。	
					適宜更新を行う。	
21	小学生を対象とした社会科副読本	農水 (農産)	次代を担う小学生を対象に本県の農林漁業の実態を正しく理解させるとともに、「食の大切さ」の認識を深め、「心の豊かさ」を醸成することを目的に、社会科副読本として作成・配布(岡山県農林漁業担い手育成)		平成20年度に引き続き作成する。	
					平成21年度に引き続き実施する。	
22	おかやま食育推進協賛事業	保 福 (健推)	地域で活動を行っている各種団体や、学校、企業、市町村等が行う事業で、食育推進の目的に沿って実施される事業を協賛事業として認定し、ホームページ等に掲載し活動を紹介する。よい事例は表彰を行う。		おかやま食育推進協賛事業 9件認定	
					申込を審査し、協賛事業として認定する。よい事例は表彰を行う。	

上段：平成21年度の実施結果  
下段：平成22年6月末までの実施結果及び平成22年度実施予定  
★：新規施策 ☆：変更事項